

授業科目	共通基本技術 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次前期	1 単位	講義	30 時間
到達目標	1.看護技術の概念と、技術習得の重要性を理解する 2.安全、安楽の概念、事故防止の重要性を理解する 3.感染とその予防の意義と基本的な方法について理解する 4.コミュニケーションの意義と基本的な方法について理解する 5.学習支援について理解する。 6.リフレクションの意義と重要性を理解する					講師
						専任教員① 専任教員②
授業計画						
1 回	看護技術を学ぶにあたって、技術とは、看護技術とは					専任教員① (18 時間)
2 回	安全確保の技術 安全安楽の概念、基礎知識					
3 回	感染防止の技術① 感染とその予防の基礎知識					
4 回	感染防止の技術② 標準予防策 手指衛生・個人防護用具の実際 (演習)					
5 回	感染防止の技術③ 標準予防策 無菌操作 (演習)					
6 回	コミュニケーション① 意義と目的 構成要素と成立過程					
7 回	コミュニケーション② 原理と態度 ミスコミュニケーション					
8 回	コミュニケーション③ コミュニケーションの実際 1 (ロールプレイ等の演習含む)					
9 回	コミュニケーション④ コミュニケーションの実際 2 (ロールプレイ等の演習含む)					
10 回	学習支援① 看護における学習支援					専任教員② (12 時間)
11 回	学習支援② 健康に生きることを支える学習支援					
12 回	学習支援③ 健康状態の変化と学習支援					
13 回	リフレクション① 看護の基盤となる考え方、問題解決過程、クリティカルシンキング、					
14 回	リフレクション② リフレクションの意義とプロセス 演習・GW					
15 回	リフレクション③ 具体的方法 演習・GW					
評価方法	修了試験 選択問題又は論述問題による筆記試験 専任教員① (60%)、専任教員② (40%) を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学②基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③基礎看護技術 II 医学書院 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント インターメディカ					
備考	教科書・配布資料で予習・復習を行い、演習においては必要な技術練習を行い臨むこと					